

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	利用者の「思い、希望」を把握・推察するために必要十分な情報を記録として残す仕組みの検討に期待する。	一人ひとりのスタッフが利用者に寄り添い、声掛けして傾聴し、その時の利用者の声や反応を記録し、全スタッフの共有とするため記録し、ハウレンソウを徹底する。	日々の介護業務の中で寄り添いと声掛けを行うことをケア会等で意思統一していく。利用者の反応について記録に基づきケア会で報告し、集団検討し、利用者の思いを全員で受け止める。記録は簡潔に利用者の反応と思いが伝わるように、記録の書き方について事例を通してケア会で集団検討する。	3ヶ月
2	26	より具体的なサービスとなるよう5W1Hを明確にした のケアプランの策定に期待する。	利用者に寄り添った中で把握した思いや要望をもとに、それに応え、実現していくケアプランを作成する。	ケアマネが利用者に寄り添って要望を把握するとともに、スタッフが把握した要望や記録を確認してケアプランを作成する。利用者の状態に関する主治医の指摘や看護師の把握した意見をもとにケアプランを作成する。ケアプラン案は全スタッフに事前チェックいただき、内容を正確にするとともに、ケア課題を全スタッフの共通意識にしていく。	3ヶ月
3	35	職員の緊急時対応のスキルアップへの継続的取り組みと、職員個々のスキル魅力の把握が望まれる。	緊急時対応マニュアルが全スタッフの日常的な意識になるようにする。	緊急時訓練実施前にマニュアルを全スタッフで学習する。訓練時の連携任務を分担し、連携の意味と分担責務の重要性について議論し、納得し、自覚を深める。訓練実施後には全スタッフで総括討議し、スキルの底上げを図る。夜間等の緊急連絡体制について、予告しないで実施し、スタッフの自覚と連絡徹底の時間短縮を図る。消防署との連携訓練、緊急時の救急救命講習の全スタッフ受講の徹底。緊急時必要物品の定期的な配備チェックを徹底する。	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。